

**健康** あきた健康宣言を発表  
健康づくり県民運動巡回キャラバン

健康寿命日本一を目指して県が展開する「健康づくり県民運動巡回キャラバン」が、11月28日に市役所を訪れ、津谷市長や市職員と意見を交わしました。この日は、県健康福祉部、市医療健康課の職員ら10人が出席。市側が各種健康対策や課題、今後の方向性などを説明したあと、県側は健康づくり人材の育成と自殺予防対策などへの協力を求めました。最後に、市が重点的に取り組むあきた健康宣言として津谷市長が「メタボリックシンドロームを10年間で10%減らします」と発表しました。



**福祉** 円滑な運用のため意見交わす  
北秋田市福祉有償運送等運営協議会

北秋田市福祉有償運送等運営協議会（柏木清一会長）が、12月1日に市民ふれあいプラザで開かれ、利用者代表や各交通機関の関係者等の委員が高齢者等外出支援サービスの利用状況や福祉有償運送事業者の実施状況などについて意見を交わしました。会議では、はじめに虻川副市長が委員に委嘱状を手渡したあと、市の担当が高齢者の外出支援サービス利用が年々減少傾向にあることを報告するとともに、人口減少や福祉施設の新設で在宅から施設入所に移行したのが減少の主な要因と指摘しました。



**安全祈願** 今シーズンの安全を祈願  
森吉山阿仁スキー場安全祈願祭

森吉山阿仁スキー場の安全祈願祭が、12月7日に同スキー場で行われました。安全祈願祭には、スキー場関係者など約40人が出席し、今シーズンの安全と冬季の観光振興の拠点となる同スキー場に多くの利用客が訪れることを祈願しました。このあと、リフトが停止し乗客が降りられなくなったことを想定した救助訓練も行われ、スタッフが手順を確認しながら救助にあたりました。今シーズンの樹氷鑑賞期間は1月6日から3月4日まで、スキー場の営業は3月25日までとなっています。



市内のいろいろな出来事をご紹介します



**地域行事** 力強いばちさばきを披露  
第27回北秋田祇園太鼓発表審査会

北秋田祇園太鼓連絡協議会（小塚恭平会長代行）による第27回北秋田祇園太鼓発表審査会が、11月23日に文化会館で開かれ、小学生や一般の愛好者らが日頃鍛えた演奏技術を競い合いました。審査会には、市内の小中学校から個人演技の部に14組、団体演技の部に6団体が参加し、これまで練習を重ねた成果を発表しました。最後は、審査会に出場した参加者約100人で太鼓を打ち鳴らす「100人打ち」が行われ、詰めかけた観客から大きな拍手が送られました。



**受賞報告** 農事組合法人ぬかさわが受賞  
ふるさと秋田農林水産大賞受賞報告

地域農業のリーダーとして優れた取り組みを実践している個人や団体に贈られる「ふるさと秋田農林水産大賞」を受賞した農事組合法人ぬかさわ（出川信久代表理事）が11月24日に市役所を訪れ、虻川副市長に受賞を報告しました。出川代表理事は「大賞をもらえるとは思っていなかった。皆さんのおかげです」などと報告しました。虻川副市長は「地元の人を雇用してもらいとてもありがたい。長年の実績が評価されたことは市にとっても誇りです」と栄えある受賞をたたえました。



**スポーツ** 息を合わせてジャンプ  
第20回北秋田市ながなわとび大会

第20回北秋田市ながなわとび大会が、12月1日に合川体育館で行われ、参加した選手たちが息を合わせて跳躍回数を競い、心地よい汗を流しました。競技は、2人のまわし手が長さ10メートルの縄を回し、10人が跳んだ2回の合計回数を競うルールで行われ、今回は22チームが参加しました。各チームの跳躍の回数が増すごとに家族や観客、参加者からの声援が会場に響き、跳躍が途絶えると大きなため息が漏れていました。選手たちは、寒さを忘れて跳躍を繰り返し、記録に挑戦していました。



**地域行事** 冬の街をにぎやかに演出  
第10回北秋田きらきらフェスティバル

第10回北秋田きらきらフェスティバル（佐藤大実行委員長）のオープニングイベントが、12月10日に米代児童公園を主会場に開かれ、パレードやイルミネーションの点灯式が行われました。この日は、サンタクロースの衣装を着た参加者約80人が鷹巣駅前から商店街をにぎやかにパレードしながらフェスティバルの開幕をアピール。公園に到着後、カウントダウンで、樹木やSL機関車の電飾が一斉に点灯すると見物客から歓声が上がりました。イルミネーションは2月4日まで毎日点灯されます。

